



複十字シール運動イメージキャラクター
「シールぼうや」



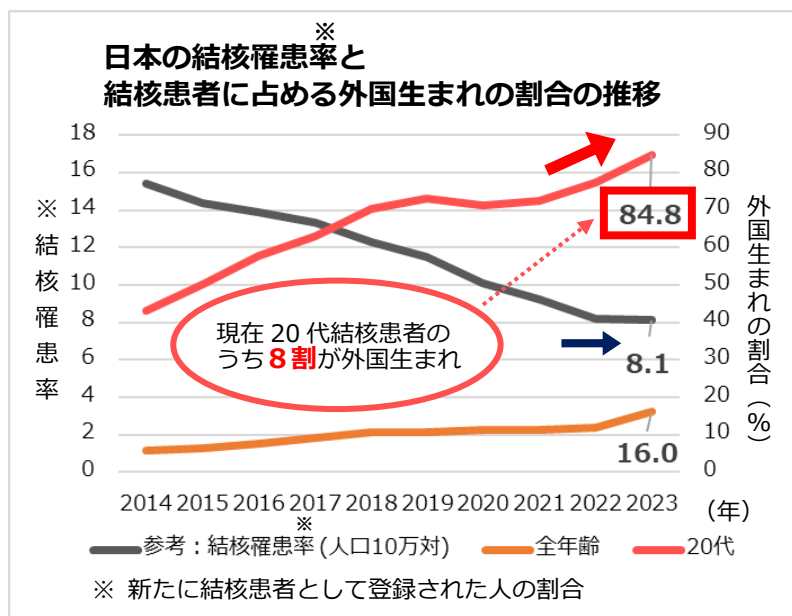
外国人の方が日本で元気に過ごすために
支援者の方々が出来ること

結核



若い

外国生まれの結核患者が急増中！



厚生労働省「2023 結核登録者情報調査年報集計について」からデータ引用



結核ってどんな病気？

結核とは、「結核菌」という細菌による慢性感染症です。結核患者が咳やくしゃみをすることで、結核菌が空気中に飛び散り、それを周りの人が吸い込むことで感染します。

症状は、微熱・咳・痰・体のだるさなど風邪によく似た症状が特徴です。現在は、薬を飲めば治る病気になりました。



感染と発病は全く違う

結核菌に「感染」しても「発病」までに半年以上かかり、またすべての人が発病するとは限りません。多くの場合は免疫力で結核菌の活動は抑えられ、発病するのは10人に1～2人程度です。

症状が進行すると、周りの人に感染させること、場合によっては死に至ることがあり早期発見・早期治療が大切です。

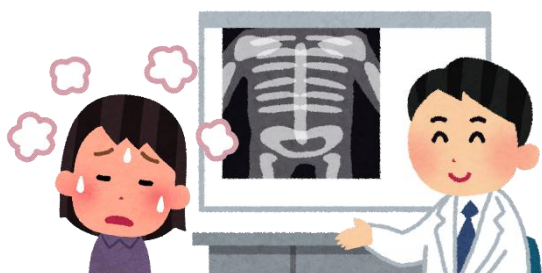


結核を早く見つけるために



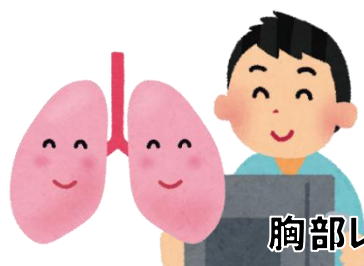
入国してすぐ発病する方が増えています。
入国前に健康診断を必ず実施すると安心！

体調が悪いときは医療機関を受診！



普段からこまめに体調確認を行ってください。本人任せにせず、咳や微熱が2週間以上続くなど体調が悪そうなときは医療機関を受診させてください。

1年に1回は定期健診！



胸部レントゲン検査

定期健診を確実に受検できているか確認しましょう。要精密検査になった場合、検査が確実に受けられるよう調整してください。



結核を発病しないために

「規則正しい生活」で免疫アップ！

1. バランス良い**食事**
2. 適度な**運動**
3. 十分な**睡眠**
4. **禁煙**



[参考]

日本と諸外国の結核罹患率

(2023 年)

国名	罹患率 (人口 10 万対)
日本	8.1 (↓)
中国	52 (→)
ベトナム	182 (↑)
ネパール	229 (→)
インドネシア	387 (↑)
ミャンマー	558 (↑)
フィリピン	643 (↑)

外国データは WHO "TB country, regional and global profiles" より引用
結核罹患率：新たに結核患者として登録された人の割合 (人口 10 万対)
100 以上：高まん延国 50～100 未満：中まん延国 10 未満：低まん延国



もし定期健診で結核疑いと診断されたら



必ず精密検査を受診

- ・ 受診時は健康保険証・紹介状等を持参し、必ず不織布マスクを着用。
- ・ 検査結果によっては、複数回受診、当日入院になることもあります。
- ・ 検査結果が出るまで、できるだけアルバイトや仕事を休ませてください。

結核ではない

医師の指示に従って、治療または経過観察

結核と診断されたら

公費で治療が受けられます！

- ・ 医師から今後の治療について説明があります。本人だけでは理解が難しい場合もあるため、できるだけ支援者が同席してください。
- ・ 痰の検査で「人にうつす危険」があるか調べ、入院・外来が決まります。結核治療＝入院、というわけではありません。
- ・ 結核治療では、3～4 種類の薬を 6～9 か月内服します。



保健センターと面接

- ・ すべての患者について、治療終了まで保健センターが支援します。
- ・ 患者や関係者に対して聞きとり調査を行い、感染している可能性がある人に対して、感染の有無を調べる検査（接触者健診）を行います。

治療終了まで

- ・ 薬は**毎日**飲むことが大切です。途中で薬を飲んだり飲まなかったりすると、薬が効かない結核菌（耐性菌）ができてしまう可能性があります。
- ・ 薬を飲むことができているか、保健センターが訪問や電話で確認します。



治療終了後・・・

半年ごと 2 年間、結核が再発していないか確認するため、胸部レントゲン検査が必要になります。保健センターから案内があります。

